

令和6年度授業改善プラン

- (取り組み内容)
- ・毎学期の終わり、自分の担当(各学年ごとに項目だてて)の授業に関して作成する。
 - ・本年度の自己の研修課題に関連し、自己の授業を分析し課題を見いだす。
 - ・見いだされた課題に対し改善プランを立て、指導方法の工夫・改善を図る。
 - ・学期の終わりに検証を行い、来学期につなげていく。

教科名(社会) 教科主任名 羽鳥聖子

★教科・観点について
 学力向上のための調査・期末テストび学期の学習状況、生徒の授業アンケートをもとに分析し記入する。<○成果 ▲課題>

観点	前半～9月			後半～1月		次年度に向けて まとめ	
	学年	課題分析	具体的な改善策	学年	課題分析(授業改善・プランの1次評価)		1次評価後の具体的な改善策
知識・技能	1年	○7月授業アンケートで「説明が分かりやすい」について「よく当てはまる64%+まあ当てはまる31%=95%」で、授業中の理解がおよそできている。 ▲等高線から断面図を書く技能、縮尺から直線距離を計算する技能を高める必要がある。	・ビジュアルな教材、現代社会に通じる教材を探索し、多面的多角的な視点で取り上げたい。 ・等高線や縮尺については、校外学習と連携しながら継続して学ばせたい。	1年			
	2年	○プリントを丁寧に完成させようとする生徒は多い。日本の土地利用について、三角洲や扇状地をPCで調べた授業は活発に意見が出た。 ▲既習事項を活用する力を育む必要がある。	・関心が高まる資料や地図を数多く活用して、資料を読み解く力を身につける。 ・班活動の際に互いに点検する時間も確保し机間指導を続けていく。	2年			
	3年	○教育支援ツールを活用することで、基礎・基本の知識は身に付けることができている。 ▲抽象的な概念や知識を習得させる必要がある。	・教科書等を活用し、難しい用語の意味を自分の言葉で説明したり、話し合い活動の中で用語を使ったりする機会を設け、知識の習得を促す。	3年			
思考・判断・表現	1年	○毎時の授業の「論点テーマ」に対して、自分の意見をまとめていく習慣をつけている。 ▲社会の事象について、多面的多角的に説明し、短文にまとめる表現力を高める必要がある。	・「論点テーマ」を明確にした授業を続けたい。 ・6月の特別活動で決めた「クラスの話し合い3箇条」を生かして。議論させ、多面的多角的な視点を育みたい。	1年			
	2年	○記述対策[文章問題を中心にした授業で、どこに注目して問題を解けばいいか説明した内容]は分かりやすかったとアンケートに回答が多かった。 ▲記述問題で、文章表現が苦手な生徒やプリントにも書かない生徒も一定数いる。	・主体的・対話的で深い学びができるように自己解決と他者との協働的な学び合いにより思考を深める時間を確保する。	2年			
	3年	○「書くこと」について積極的な生徒が多い。 ▲問題の意図を理解することや、表現力に課題がある。また、積極的に発言できる生徒を増やしていく必要がある。	・提出課題については、求めている内容を具体的に示すことで自己評価を促したい。 ・授業支援システムを活用して、生徒の意思や意見を表現できる機会を増やしていく。	3年			
主体的に学習に取り組む態度	1年	○毎時の授業でワークシートやノートに取り組む習慣をつけている。 ▲課題を完成させて期日までに提出する習慣を定着させる必要がある。	・「次回授業の内容予告」をすることで、予習習慣をつけたい。 ・地形図の課題は校外学習で実体験することで興味を高めたい。	1年			
	2年	○都道府県を調べる活動に興味関心を抱く生徒が多かった。図書や新聞、地図、旅行ガイド、ICTなど複合的に情報を集める方法を指導した。本州四国連絡橋の作業は、話し合いが深まった。 ▲自分の言葉で書くことを習慣付ける必要がある。	・評価基準を事前に説明すること、評価が高い生徒の作品、やり方を紹介する。	2年			
	3年	○学習者用端末を活用して情報を収集したり、他者の意見を取り入れることができている。 ▲課題を自分事として捉えさせる必要がある。	・主体的に考えたいくなる発問や課題を設定し、自分ならどうするかを小グループで話し合う機会をつくっていく。	3年			